2022年度　授業シラバス

科目名	英会話	必修 選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
グローバル化が進む社会で求められている英語によるコミュニケーション能力を学ぶ。

【到達目標】
海外実学研修に向けてコミュニケーション能力を身につける

【教員の略歴】
カナダのテレビ局に アナウンサーとして入社後、ディレクターとして番組を担当する。
また声優プロダクション所属しTV番組やCMのナレーションを担当″

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	Introduction		①	Unit 7, DVD	
②	Unit1, DVD		②	Unit 8, DVD	
③	Unit1, DVD		③	Unit 8, DVD	
④	Unit 2, DVD		④	Unit 9, DVD	
⑤	Unit 2, DVD		⑤	Unit 9, DVD	
⑥	Unit 3, DVD		⑥	Unit 10, DVD	
⑦	Unit 3, DVD		⑦	Unit 10, DVD	
⑧	Unit 4, DVD		⑧	Unit 11, DVD	
⑨	Unit 4, DVD		⑨	Unit 11, DVD	
⑩	Unit 5, DVD		⑩	Unit 12, DVD	
⑪	Exam	前期試験	⑪	Exam	後期試験
⑫	Unit 5, DVD		⑫	Unit 12, DVD	
⑬	Unit 6, DVD		⑬	Unit 13, DVD	
⑭	Unit 6, DVD		⑭	Unit 13, DVD	
⑮	Unit 7, DVD		⑮	１年間のまとめ	

準備学習 時間外学習	できる限り英会話に触れる時間と意識を持つこと	評価方法	授業態度、インタビュー、筆記試験、レポート等
受講生への メッセージ	難しくとらえず一緒に英語を楽しみましょう！	使用教科書 教材 参考書	TV，DVDセット

2022年度　授業シラバス

科目名	コンピュータ	必修選択	必修	年次	1	学科	声優科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。
各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。

【到達目標】
Word,Excelの基本的な操作できるようになること。
メール使い方（マナー）を習得すること。

【教員の略歴】
【講師実績】
様々な大学にて情報処理入門・応用（必須）、MOS Word・Excel2016対策講座、キャリアデザイン基礎演習、ビジネス実務概論、秘書学概論、秘書学実務演習他多数指導

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	授業ガイダンス・環境確認		①	Excel第1章　Excelの基本操作	
②	Word第1章　Wordの基本操作、		②	Excel2章　数式の作成	
③	Word第2章　文章の編集		③	Excel第3章　表の編集	
④	Word第3章　表現力のある文書作成		④	Excel第4章　グラフの作成	
⑤	Word第4章　図形の応用		⑤	Excel第5・6章　印刷・ワークシートの操作	
⑥	Word第5章　表の作成		⑥	Excel第7章　いろいろな関数	
⑦	Word第6章　Wordの便利な機能		⑦	Excel第8・9章　Excelの便利な機能	
⑧	Word第7章　SmartArtグラフィック		⑧	Excel第10章　Excelの活用・復習課題	
⑨	Word総復習課題		⑨	後期試験準備のための模擬試験	
⑩	前期試験準備のための模擬試験		⑩	後期試験準備のための模擬試験	
⑪	前期試験（Word）	前期試験	⑪	後期試験	後期試験
⑫	試験振り返り		⑫	試験振り返り	
⑬	Word第8章　表の応用		⑬	Excel第11章　Excelの活用・復習課題	
⑭	Word第9章　文書をサポートする機能		⑭	Word・Excel総復習課題	
⑮	Word第10章　文書をサポートする機能　応用		⑮	Word・Excel総復習・まとめ	

準備学習時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、 臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生へのメッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2016・Excel2016 USBメモリ必携

2022年度　授業シラバス

科目名	ビジネスマナー	必修 選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
・社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。
・社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。

【到達目標】
企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。

【教員の略歴】
秘書検定1級・ビジネス技能検定・サービス接遇準1級を取得し、大学・専門学校で長年秘書検定、ビジネスマナー、就職指導を担当しています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ガイダンス・コミュニケーションとは?　　挨拶・おじぎ		①	4章　社会的スキルⅡ、Ⅲ	
②	2章　基本スタイルⅠ　1～3		②	4章　社会的スキルⅡ　3～4	
③	2章　基本スタイルⅠ　4～6		③	4章　社会的スキルⅡ　6～7	
④	2章　基本スタイルⅡ		④	4章　社会的スキルⅢ1～2	
⑤	3章　自己表現スキルⅠ　1～3		⑤	4章　社会的スキルⅢ　3～5	
⑥	3章　自己表現スキルⅠ　4～6		⑥	サービスマインドⅠ　1	
⑦	3章　自己表現スキルⅡ　1～3		⑦	サービスマインドⅠ　2～3	
⑧	3章　自己表現スキルⅡ　4～6		⑧	サービスマインドⅡ　1	
⑨	3章　自己表現スキルⅢ　1～2		⑨	サービスマインドⅡ2～3	
⑩	3章　自己表現スキルⅢ　3～4		⑩	プレゼンテーション　自己アピール	
⑪	復習　模擬テスト	前期試験	⑪	検定　過去問題対策	後期試験
⑫	プレゼンテーション　自己アピール		⑫	直前　検定問題対策	
⑬	4章　社会的スキルⅠ、Ⅱ		⑬	直前　検定問題対策	
⑭	4章　社会的スキルⅠ、Ⅱ		⑭	コミュニケーションスキルアップ検定	
⑮	前期・総復習		⑮	まとめ	

準備学習 時間外学習	より多くの人と関わることに努めること 相手に対して興味を持って接すること	評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ 筆記試験点数を加算する。
受講生への メッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定

2022年度　授業シラバス

科目名	滑舌・アクセント	必修選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
プロの発声・発音の基礎、舌の使い方などの基礎を50音各行ごとに解説⇒実習。声と耳を鍛える。

【到達目標】
・アクセント辞典の使い方と正しいアクセントの習得
・正しい日本語の発音・発声の基礎の習得

【教員の略歴】
ナレーター　MC　スポーツ実況　テレビ・ラジオの番組キャスター　リポーターを経験。最近ではNHKの朝ドラにも出演。
バスの車内アナウンスの声も担当している。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション(この授業の意義について)		①	さ・ざ・しゃ・じゃ行の滑舌解説と実習	
②	呼吸・姿勢・発声①		②	た・だ・ちゃ・つぁ行の滑舌解説と実習	
③	呼吸・姿勢・発声②		③	な・にゃ行の滑舌解説と実習	
④	標準語アクセント解説　標準語で単語を発音①		④	は・ひゃ行の滑舌解説と実習	
⑤	標準語で単語を発音②		⑤	ば・ぱ・びゃ・ぴゃ行の滑舌解説と実習	
⑥	滑舌をよくするエクササイズ①		⑥	ま・みゃ行の滑舌解説と実習	
⑦	滑舌をよくするエクササイズ②		⑦	や行の滑舌解説と実習	
⑧	鼻濁音・無声化の解説と実習①		⑧	ら・りゃ行の滑舌解説と実習	
⑨	鼻濁音・無声化の解説と実習②		⑨	わ行の滑舌解説と実習	
⑩	試験	前期試験	⑩	後期試験問題のための解説と練習	
⑪	母音・半母音の滑舌解説と実習①		⑪	試験	後期試験
⑫	母音・半母音の滑舌解説と実習②		⑫	鼻濁音・無声化の復習	
⑬	か・きゃ行の滑舌解説と実習		⑬	母音・半母音の復習①	
⑭	が・ぎゃ行の滑舌解説と実習		⑭	母音・半母音の復習②	
⑮	前期　復習		⑮	まとめ	

準備学習 時間外学習	・教科書の滑舌練習文を声を出して読んでくる ・講義中に配布するプリントの内容を声を出して読んでくる	評価方法	成績は、出席率・授業態度(受講態度・取組姿勢)・試験にて総合的に　　評価します。
受講生への メッセージ	基礎を徹底的に繰り返す授業ですが、楽しく進めたいと思います。声優・ナレーター…声を生業とする人が全て通る道です。頑張って耳と声を鍛えてください。	使用教科書 教材 参考書	・発声・滑舌・アクセント トレーニング教本(滋慶出版発行) ・授業時に配布する講師オリジナルプリント

2022年度　授業シラバス

科目名	言語表現・朗読	必修 選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ラジオブースの中でマイクを使って表現

【到達目標】
フリートークのテクニックを身につけ、人を惹きつけるようなMC力の強化を図る。

【教員の略歴】
ラジオ番組パーソナリティや高校野球ハイライトを長年務めるなど視聴者からも支持を得ています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹＆PR		①	朗読①	
②	2人トーク①		②	朗読②	
③	2人トーク②		③	朗読③	
④	2人トーク③		④	朗読④	
⑤	2人トーク④		⑤	朗読⑤	
⑥	1人トーク①		⑥	トーク～イントロ①	
⑦	1人トーク②		⑦	トーク～イントロ②	
⑧	1人トーク③		⑧	トーク～イントロ③	
⑨	1人トーク④		⑨	トーク～イントロ④	
⑩	1人トーク　試験	前期試験	⑩	トーク～イントロ⑤	
⑪	CMナレーション①		⑪	1人トーク　試験	後期試験
⑫	CMナレーション②		⑫	1人トーク	
⑬	CMナレーション③		⑬	ステージMC①	
⑭	CMナレーション④		⑭	ステージMC②	
⑮	CMナレーション⑤		⑮	1年間のまとめ	
準備学習 時間外学習	滑舌の練習を毎日してください。		評価方法	試験・出席率・授業態度を総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	常に心をこめた言葉を使うように心がけてください		使用教科書 教材 参考書	特にありません。	

2022年度　授業シラバス

科目名	ヴォイス＆ボディトレーニング	必修選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
1. 柔軟性のある体と心を鍛え、腹式を意識した発声　2. 舞台用語への理解　3. ミュージカル　4.演じる事の楽しさを学ぶ

【到達目標】
・呼吸法、母音法、フレージング法の習得。
・歌・演技・踊りを学ぶことで感情豊かな表現力を身につける。

【教員の略歴】
ミュージカル多数出演地方テーマパーク
メインシンガー パレードMC、その他Live出演。個人ヴォイストレーナー

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	目的意識向上　腹式呼吸法　母音法		①	腹式呼吸法　母音法　課題について	
②	腹式呼吸法　母音法　行動力強化		②	腹式呼吸法　母音法　歌唱基礎	
③	腹式呼吸法　柔軟基礎　表現力強化		③	腹式呼吸法　母音法　コーラスワーク	
④	腹式呼吸法　リズム感　行動力強化		④	腹式呼吸法　ダンス基礎　演技基礎	
⑤	腹式呼吸法　歌唱基礎　記憶力強化		⑤	腹式呼吸法　協調性強化　感情表現	
⑥	腹式呼吸法　歌唱基礎　表現力強化		⑥	腹式呼吸法　歌唱基礎　試験課題練習	
⑦	試験課題練習　腹式呼吸法　体力強化		⑦	腹式呼吸法　演技基礎　試験課題練習	
⑧	試験課題練習　腹式呼吸法　表現力強化		⑧	腹式呼吸法　歌唱基礎　試験課題練習	
⑨	試験課題練習　腹式呼吸法		⑨	腹式呼吸法 表現力強化 行動力 試験課題練習	
⑩	腹式呼吸法 母音法 行動力		⑩	腹式呼吸法 ダンス基礎 体力強化 試験課題練習	
⑪	腹式呼吸法　母音法　ダンス基礎		⑪	目的意識の再確認　腹式呼吸法	
⑫	前期試験	前期試験	⑫	腹式呼吸法　母音法　課題について	
⑬	腹式呼吸法　歌唱基礎　記憶力強化		⑬	後期試験	後期試験
⑭	目的意識向上　腹式呼吸法　母音法		⑭	腹式呼吸法　母音法　歌唱基礎	
⑮	腹式呼吸法　母音法　行動力強化		⑮	腹式呼吸法　母音法　コーラスワーク	

準備学習 時間外学習	柔軟性を高める事や 目的意識の確認授業内容の歌唱課題や振り付けの復習	評価方法	試験　受講態度　課題へ取り組む姿勢 集団行動能力　コミュニケーション能力の有無
受講生へのメッセージ	表現する事の大切さや舞台に立つ姿勢、 覚悟等必要なスキルを共に楽しみながら学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	ポップスやアニメソング、 映画音楽ミュージカル楽曲（アイーダ等）

2022年度　授業シラバス

科目名	声優基礎	必修 選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 （8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

声優・ボーカリストとして必要な歌唱力を身に着けるトレーニングを中心に、
LIVEで魅せるステージング、ステージ上でファンを掴むための話術などを得るトレーニングを行う。

【到達目標】

ライブに応用できる様々なパフォーマンスを習得する。
また、マナー・モラルの教育を通して、人間力を高める。

【教員の略歴】

劇団に所属し数々のTVドラマや映画などに出演。俳優としてだけでなく、歌手の道も志し、メジャーデビュー。ラジオパーソナリティとしても活躍。イベント司会などもこなし、またアニソンシンガーや声優などとも共演。自身も声優やCMナレーターとしても活動する。ボイストレーナーや多くのボーカルコンテストなどの審査員なども担当。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション　パフォーマンスの必要性		①	ステージング応用③	
②	ステージングのための基礎知識①		②	ステージング応用④	
③	ステージングのための基礎知識②		③	ステージング応用⑤	
④	発声基礎①		④	ステージング応用⑥	
⑤	発声基礎②		⑤	MCトレーニング①	
⑥	発声基礎③		⑥	MCトレーニング②	
⑦	発声基礎④		⑦	MCトレーニング③	
⑧	ステージング基礎演習①		⑧	MCトレーニング④	
⑨	ステージング基礎演習②		⑨	MCトレーニング⑤	
⑩	ステージング基礎演習③		⑩	MCトレーニング⑥	
⑪	実技試験	前期試験	⑪	実技試験	後期試験
⑫	ステージング基礎演習④		⑫	授業内LIVE①	
⑬	ステージング基礎演習⑤		⑬	授業内LIVE①	
⑭	ステージング応用①		⑭	授業内LIVE①	
⑮	ステージング応用②		⑮	1年のまとめ	

準備学習 時間外学習	●授業で行ったトレーニングを習慣になるくらいまで反復練習 ●授業で練習した楽曲、次回に練習予定の楽曲の聴きこみ、ノートへの歌詞の転写など。 ●授業で取り上げたアーティストのLIVEなどを、Youtubeや実際にLIVEなどに足を運ぶなどして視聴する。 ●その他アニメソングに限らず和洋、いろんなジャンルのアーティストや音楽になるべく多く触れる時間を作る。多くの楽器に触れたり、演奏する。	評価方法	試験、出席率、授業態度。授業態度は特に重視する。
受講生への メッセージ	1年はあっという間に過ぎます。基礎を積み上げる練習をおろそかにすると2年で確実につまづきます。 一回一回の授業を大切に、とにかく基礎を確実に積み上げましょう。	使用教科書 教材 参考書	SM-58（マイク）、各自自前の楽器、筆記用具やスマートフォン、i-padなど。

2022年度　授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ	必修 選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
基礎台本から現場で実際に使われている台本まで、様々な台本を通して、必要な考え方を身につけながら、基礎力をつける。

【到達目標】
・声優として必要な声で表現（演技に必要な技法）を知り、マイク前での演技の基礎を身につける。

【教員の略歴】
大阪のプロダクションに所属。現在キャラクターボイスを中心に、様々な分野で幅広く活躍中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	声優にとって一番大切な事を知る		①	台本を正しく読む	
②	声で表現（基礎①）		②	台本の読み取り	
③	声で表現（基礎②）		③	言葉の表現	
④	声で表現（基礎③）		④	複雑な感情の表現	
⑤	複数人で台本を読む		⑤	様々な台本を見比べる	
⑥	複数人で演じる時の注意点		⑥	様々な仕事を体験する①	
⑦	自分の立ち位置を知り表現する		⑦	様々な仕事を体験する②	
⑧	オーディションに向けて		⑧	様々な仕事を体験する③	
⑨	試験前練習		⑨	試験前練習	
⑩	試験（基礎力）		⑩	試験（求められた演技ができるか）	
⑪	試験（基礎力）	前期試験	⑪	試験（求められた演技ができるか）	後期試験
⑫	オーディションに向けて		⑫	様々な仕事を体験する④	
⑬	オーディション体験		⑬	様々な仕事を体験する⑤	
⑭	オーディション体験		⑭	二年生に向けて必要な事	
⑮	オーディション体験		⑮	二年生に向けて必要な事	

準備学習 時間外学習	予習復習は絶対必須！。腹筋・背筋・口筋・人間力を常に鍛え、色々な声に意識をもってモノマネをし、自分の引き出しを増やして下さい。	評価方法	授業の試験・出席率・授業態度・基礎力・授業の内容が理解できて表現できるかどうかなど
受講生へのメッセージ	この業界にゴールはありません。基礎的な事は勿論ですが、プロの考え方を教えていきます。台本にはないヒントがたくさんあるので、考え方を盗み、自分のものにして、自宅でも自分が講師になって自身を磨けるように、耳を鍛えてください！	使用教科書 教材 参考書	基礎台本・演劇台本

2022年度　授業シラバス

科目名	ヴォイスコントロール	必修選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
声を出す基本の発声を習得するために基礎ブレストレーニングを中心に腹式呼吸を学ぶ
身体の位置を使って、声の層を理解しながら声を出す。自分の身体を層に分けてヴォイスコントロールをつける
どこに響いているかという事を感じて、厚みのある安定感のある声を出し、声域を広げていく。「うた」をうたう！

【到達目標】
・全身を使いパワフルなスケール感のある声を出せるようになる。・恥ずかしがらず、しっかりと大きな声で歌えるようになる。
・1年間の成果として正しい音程を取ることができるようになる。

【教員の略歴】
ピアノ・音楽・音楽理論を学び、ボイストレーナーとして芸能事務所、放送局、企業でヴォイストレーニングを指導。
専門は「音楽」ということで、ピアノを用いて基礎発声を指導。
現役アナウンサー、役者、歌手、DJ等々のボイストレーナーとしても活動。自社にて卒業生多数在籍しています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介　大きな声でしっかり名前を言う ヴォイスコントロールとは？		①	一連の発声と「課題曲」 1人ミュージカルの練習（高低コントロール）	
②	ヴォイストレーニングとヴォイスコントロール、この必要性		②	一連の発声 「課題曲」の高低コントロール	
③	最も必要とする「息」のトレーニング　ブレストレーニング 「息」と「発声」		③	一連の発声 「課題曲」の高低コントロール	
④	ブレストレーニング、ヴォイストレーニング、 ヴォイスコントロール 「あいうえお唱法」をレッスン		④	一連の発声「課題曲」 の2部 譜面配布	
⑤	階名（ドレミ～）や母音・子音を用いて行う歌唱法として ソルフェージュを学ぶ		⑤	一連の発声 「課題曲」の2部 譜面配布	
⑥	一連の基礎発声を学んだ後、合唱曲ジブリより 「課題曲」の譜面配布		⑥	一連の発声 「課題曲」の2部 譜面配布	
⑦	一連の基礎発声 「課題曲」のパート分け		⑦	一連の発声 「課題曲」の2部 譜面配布	
⑧	一連の基礎発声、混声2部のパート分け		⑧	一連の発声 「課題曲」の2部 譜面配布	
⑨	一連の基礎発声、前期試験の練習		⑨	一連の発声 「課題曲」の2部 譜面配布	
⑩	試験の実技①ブレストレーニング②あいうえお唱法	前期試験	⑩	一連の発声 「課題曲」の2部 譜面配布	
⑪	一連の基礎発声、「食育」メニュースタート1週間 「課題曲」パート合唱		⑪	実技試験	後期試験
⑫	食育メニュー提出 「食育」講義		⑫	自分の好きな曲をマイクで歌う	
⑬	一連の発声、ソルフェージュ 「課題曲」合唱		⑬	自分の好きな曲をマイクで歌う	
⑭	一連の発声、ソルフェージュ 「課題曲」合唱		⑭	自分の好きな曲をマイクで歌う	
⑮	一連の発声、ソルフェージュ 「課題曲」合唱		⑮	1年間のまとめ	

準備学習 時間外学習	ブレストレーニングは毎日自宅で練習する 大きな声で50音、ABCを発声する	評価方法	①出席率②授業態度③実技試験④レポート
受講生へのメッセージ	1年間しっかりと授業を受けてください 基礎の発声をしっかり学び、自信をつけてください。 うたの上手・下手を争う授業ではありません。 声をコントロールするために「うた」を用います。	使用教科書 教材 参考書	筆記用具、ノート 譜面はコピーを用意します

2022年度　授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
エンターテイナーとして必要な心構え、度胸を養う

【到達目標】
役作りのプランニング方法の習得。及び柔軟な思考を育て、演者としての心得を学ぶ。

【教員の略歴】
俳優として活動する傍ら、全国の芸能事務所やスクール等で芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導も行い、子役からシニアまでこれまでに1000名以上の俳優を育てている。関西テーマパークでの大型ショーのアクションコーディネートや様々な舞台、ショーでの殺陣指導など幅広い活動を行っている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	身体訓練①		①	演技メソッド① メソッド概論	
②	身体訓練①		②	演技メソッド② 「心の中のセリフ」	
③	身体訓練① 発音、滑舌の訓練		③	演技メソッド③ 「レセプション」	
④	身体訓練② 発音、滑舌の訓練		④	演技メソッド④ 「二義的」	
⑤	身体訓練③ パワースピーチ(人前に立つ度胸の習得)		⑤	「メソッド⑤」 セルクル	
⑥	身体訓練④ パワースピーチ(人前に立つ度胸の習得)		⑥	演技演習① 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑦	感情表現① 1P程度の台本		⑦	演技演習② 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑧	感情表現② 1P程度の台本		⑧	演技演習③ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑨	感情表現③ 1P程度の台本		⑨	演技演習④ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑩	感情表現④ 1P程度の台本	前期試験	⑩	演技演習⑤ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑪	感情表現⑤ 1P程度の台本		⑪	演技演習⑥ 台本を使用してメソッドを当てはめる	後期試験
⑫	感情表現⑥ 1P程度の台本		⑫	演技演習⑦ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑬	感情表現⑦ 1P程度の台本		⑬	演技演習⑧ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑭	感情表現⑧ 1P程度の台本		⑭	演技演習⑨ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑮	感情表現⑨ 1P程度の台本		⑮	演技演習⑩ 台本を使用してメソッドを当てはめる	

準備学習 時間外学習	滑舌練習を毎日ください。	評価方法	試験・出席率・授業態度・スキルの向上度合
受講生への メッセージ	まず恥ずかしいを無くしましょう。 次に普段自分が無意識に行っている行動はどのように行っているのか有意識化する事が重要。 自分を知ることが演技の上達への近道です。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	ナレーション	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

前期は座学中心の授業で、主にアクセントや読みに関する基礎的な知識を学習します。
後期は前期で習得した知識をもとに、マイクや映像を使いながら実践的な表現をマンツーマンで指導していきます。
ナレーションの授業なので基本的には原稿メインで指導するものの、声優にも共通する「声で表現する」という部分を重視。

【到達目標】

声で表現をする為に必要な基礎スキル（発声・滑舌・アクセントなど）と基礎知識・表現方法の習得。
ナレーション原稿や台本など、文章を読むということに慣れ、プロとしての読みを目指す。

【教員の略歴】

FMラジオのDJ・パーソナリティー、イベントMC、スポーツDJや実況、CMナレーション、TVなど
ボイス系タレントとして関西を中心に幅広く活動中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	イントロダクション、自己紹介		①	時間を意識したナレーション①	
②	母音のメソッド、標準語のアクセント		②	時間を意識したナレーション②	
③	鼻濁音、母音の無声化		③	時間を意識したナレーション③	
④	声の5要素①		④	時間を意識したナレーション④	
⑤	声の5要素②		⑤	長尺ナレーション①	
⑥	強調、プロミネンス		⑥	長尺ナレーション②	
⑦	イントネーション①		⑦	長尺ナレーション③	
⑧	イントネーション②		⑧	長尺ナレーション④	
⑨	詩の朗読①		⑨	映像に合わせたナレーション①	
⑩	試験	前期試験	⑩	映像に合わせたナレーション②	
⑪	詩の朗読②		⑪	試験	後期試験
⑫	詩の朗読③		⑫	映像に合わせたナレーション③	
⑬	ニュース原稿①		⑬	映像に合わせたナレーション④	
⑭	ニュース原稿②		⑭	映像に合わせたナレーション⑤	
⑮	前期　復習		⑮	一年間の総まとめ	
準備学習 時間外学習	習った事の復習を必ず行う事		評価方法	出席率、試験の結果、授業態度	
受講生への メッセージ	一生懸命切磋琢磨し努力すれば必ず上達します。努力は裏切りませんので学校生活を楽しみながら2年間を死にものぐるいで頑張って下さい。		使用教科書 教材 参考書	音響機材　マイク、ケーブル、RCA。LR／ステレオミニプラグ	

2022年度　授業シラバス

科目名	ラジオパーソナリティー	必修選択	必修・選択	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ラジオブースを使ってマイクの前で表現

【到達目標】
自分の言葉で、自分の考えを相手にスムーズに伝えられるようになる。
放送の現場にふさわしい、正しい日本語で、その場に応じたフリートーク力を養う。

【教員の略歴】
ラジオ番組パーソナリティや高校野球ハイライトを長年務めるなど視聴者からも支持を得ています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介＆PR		①	1人トーク～イントロ④	
②	3人トーク①		②	1人トーク～イントロ⑤	
③	3人トーク②		③	1人トーク～イントロ⑥	
④	3人トーク③		④	1人トーク～イントロ⑦	
⑤	2人トーク①		⑤	1人トーク～イントロ⑧	
⑥	2人トーク②		⑥	イベントMC①	
⑦	2人トーク③		⑦	イベントMC②	
⑧	1人トーク①		⑧	イベントMC③	
⑨	1人トーク②		⑨	イベントMC④	
⑩	1人トーク　試験	前期試験	⑩	イベントMC⑤	
⑪	1人トーク③		⑪	イベントMC　試験	後期試験
⑫	1人トーク～イントロ①		⑫	イベントMC⑥	
⑬	1人トーク～イントロ②		⑬	イベントMC⑦	
⑭	1人トーク～イントロ③		⑭	イベントMC⑧	
⑮	前期　復習		⑮	まとめ	

準備学習 時間外学習	本をたくさん読んで語彙力を高めてください。	評価方法	試験・出席率・授業態度を総合的に評価します。
受講生への メッセージ	自分の言葉で心を込めて喋ることを心掛けてください。	使用教科書 教材 参考書	特にありません。

2022年度　授業シラバス

科目名	ラジオドラマ	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
グループに分け、模擬番組を作成＆授業内で発表、総括する。

【到達目標】
実際に番組ドラマを制作し、ラジオドラマ制作におけるスタジオワークを学んでもらう。

【教員の略歴】
関西の声優プロダクションにて活躍.ナレーター・声優・俳優を生業としている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介		①	ラジオドラマ制作　稽古①	
②	ラジオドラマとは		②	ラジオドラマ制作　稽古②	
③	ラジオドラマ視聴①		③	ラジオドラマ制作　稽古③	
④	ラジオドラマ視聴②		④	ラジオドラマ制作　稽古④	
⑤	ラジオドラマ視聴＆発表①		⑤	ラジオドラマ制作　稽古⑤	
⑥	ラジオドラマ視聴＆発表②		⑥	ラジオドラマ制作　収録①	
⑦	企画から完成までの流れについて		⑦	ラジオドラマ制作　収録②	
⑧	作品制作　台本制作①		⑧	ラジオドラマ制作　効果音収録①	
⑨	作品制作　台本制作②		⑨	ラジオドラマ制作　効果音収録②	
⑩	前期試験		⑩	ラジオドラマ制作　効果音収録③	
⑪	台本決定		⑪	後期試験	
⑫	作品制作　キャスティング①　グループ分け		⑫	作品発表	
⑬	作品制作　キャスティング①　キャスティング		⑬	ラジオドラマ　総評・アドバイス	
⑭	総評・アドバイス		⑭	後期まとめ	
⑮	前期のまとめ		⑮	1年間を振り返って	

準備学習 時間外学習	特に指定はありませんが、必要に応じて行います。	評価方法	ラジオ番組・ドラマ制作を通じての評価はもちろん、チームワークを必要とする作業も多いので、試験や出席日数や連絡の有無、授業態度も評価対象とします。
受講生への メッセージ	実践重視の授業です。様々なことを学んでいきますが、「プロの現場」と「授業で学ぶ内容」は同じことが多いので、卒業後、即戦力になるためにも高い意識を持って臨んでほしいです。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	MC＆リポート・実況	必修選択	必修選択	年次	1	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
マイクを使用した実技。
職業として言葉を駆使する。

【到達目標】
・MCとして、現場に応じた状況判断をして、円滑に進行を行えるスキルの習得。
・実践で活かせる、正しい言葉使いとアクセントの習得。

【教員の略歴】
関西にてイベント司会、ナレーション、朗読、企業向け話し方指導などを中心に活動。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介、声チェック		①	インタビュー	
②	様々なイベント①		②	本番に臨む①	
③	物を紹介する①		③	本番に臨む②	
④	物を紹介する②		④	イベント進行演習①	
⑤	物を紹介する③		⑤	イベント進行演習②	
⑥	様々なイベント②		⑥	イベント進行演習③	
⑦	フリートーク①		⑦	実況フリートーク①	
⑧	イベント台本を見る		⑧	実況フリートーク②	
⑨	イベント台本を読む		⑨	実況フリートーク③	
⑩	試験	前期試験	⑩	原稿作成の極意	
⑪	台本通り動く		⑪	試験	後期試験
⑫	ペアで進行する①		⑫	台本を理解する	
⑬	ペアで進行する②		⑬	理解したことを声で表現する	
⑭	ペアで進行する③		⑭	聞き手に伝わる話し方をする	
⑮	前期　まとめ		⑮	総括	

準備学習 時間外学習	天満音楽祭MC	評価方法	出席、実技、レポート、授業態度、筆記テストで総合して評価する。
受講生への メッセージ	誰にでも伝わる正しい発音と美しい日本語に興味を持って下さい。	使用教科書 教材 参考書	アクセント辞典（必携）、国語辞典（電子辞書可）、手鏡

2022年度　授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 （8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
前期はキャラクターボイスを中心に演じ方などを学びながら、得意な声を考え、後期には洋画やアニメなどのアフレコ体験で、実践的な授業で応用力を身につける。

【到達目標】
・舞台制作を通じ、役者同士及び各セクションとのコミュニケーション力と協調性を身につける・舞台制作に必要な、本番まで行程を学ぶ
・基礎力を向上と、作品意図を考察しながら想像力を鍛え完成を目指す

【教員の略歴】
大阪のプロダクションに所属。現在キャラクターボイスを中心に、様々な分野で幅広く活躍中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	声優にとって大切なことを知る		①	洋画のアテレコ（演じ方の違い）	
②	選ぶ側を知る		②	洋画のアテレコ（役者の声に声をあてる事）	
③	キャラクターの演じ方		③	洋画のアテレコ（アドリブなど必要な声）	
④	それぞれのキャラクターの立ち位置から個性を考える		④	洋画のアテレコ（役者と呼吸を合わせる）	
⑤	進級制作台本からキャラクターを考える		⑤	アニメのアフレコ（対象者によって変わる演技）	
⑥	絵コンテや性格からキャラクターに個性をつける		⑥	アニメのアフレコ（大人数でアフレコ体験）	
⑦	キャスト　一次オーディション		⑦	アニメのアフレコ（アニメにリアリティーを加える）①	
⑧	キャスト　二次オーディション		⑧	アニメのアフレコ（アニメにリアリティーを加える）②	
⑨	試験（キャラクターを含めた演技）		⑨	試験前練習	
⑩	試験（キャラクターを含めた演技）	前期試験	⑩	試験（洋画のアテレコ）	
⑪	マイクワーク①		⑪	試験（洋画のアテレコ）	後期試験
⑫	マイクワーク②		⑫	アニメのアフレコ（まとめ）	
⑬	マイクワーク③		⑬	アニメのアフレコ（まとめ）	
⑭	本番に向けての練習		⑭	二年生に向けて	
⑮	本番に向けての練習		⑮	二年生に向けて	

準備学習 時間外学習	予習復習は絶対必須！。腹筋・背筋・口筋・人間力を常に鍛え、色々な声に意識をもってモノマネをし、自分の引き出しを増やして下さい。	評価方法	試験・授業の出席率・授業態度・基礎力・応用力・PR力など
受講生へのメッセージ	進級制作では、実践を体験してもらいながら、個々の個性に目を向けて、自分の得意な部分を知って欲しいと考えています。PRがとても大切な業界なので、自分をもっと知り、向き合って、得意分野を伸ばしていきましょう！	使用教科書 教材 参考書	キャラクターショー台本・進級制作アニメ台本・